

株式会社 谷口金属 熱処理工業所



代表取締役
谷口 裕久

愛媛県
西条市喜多川853-16-1

1975年(昭和50年)設立
TEL 0897-55-5515

<http://www.e-rinkai.or.jp/tanikin/>

高度な熱処理技術による
歪みの少ない金属加工

従来の概念を変える技術により、金属の焼き入れによる歪みや表面の酸化・脱炭の少ない熱処理を実現

ナノテクの世界

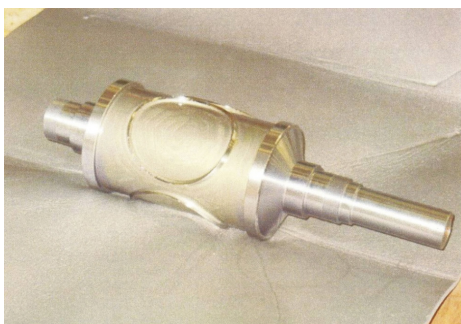
同社では、金属の焼き入れによる歪みが前処理時に100分の5ミリの場合、後処理することで100分の2.5ミリまで精度を上げる技術を有しており、大型建設機械のギアからミリグラム単位のパソコン部品まで製造している。その職人技は、業界から世界最高レベルの熱処理技術と高い評価を得ている。

モノ作りの概念を変える拡散接合技術

真空熱処理の技術を応用し、金属やセラミックなどの異種材料を接合する「拡散接合」にも取り組むことにより、機械加工だけでは直接作り出せない部品の製作を可能とした。従来のモノ作りの概念、設計思想を変えてしまう技術である。

環境にも配慮した新しい熱処理装置を開発 (ホットガスシステム)

精密金属加工品や工具鋼の熱処理では、これまで塩化バリウムや硝酸塩を使用する「湿式炉」が主流で、作業環境や産業廃棄物、熱効率などが問題となっていたが、窒素などの不活性ガスを使用して連続等温処理する「乾式炉」を新たに開発。長年に渡って悩まされていた問題を解決した。



拡散接合品例



ホットガス乾式炉全容